

「押出成形セメント板Q&A(第2版)」の改定箇所

ECP協会 技術部会

第2版	初版	内容	改定箇所	理由
Q1-1	Q1-1	ECPはどのような材料か？	変遷年表に、平成25年と平成28年を追記した。	「公共建築工事標準仕様書」と「ECP施工標準仕様書」の改定内容に合わせた。
Q1-2	Q1-2	ECPとALCの違いは何か？	改定なし。	
Q1-3	Q1-3	ECPはシックハウス対策が必要か？	改定なし。	
Q1-4	Q1-4	ECPはリサイクル可能か？	誤字修正のみ。	
Q1-5	Q1-5	ECPの下地鋼材の仕様は？	改定なし。	
Q1-6	Q1-6	Zクリップの防錆処理は？	丸座金の厚みを「2.3」→「2.0」に変更した。	検証試験で強度を確認し問題無かったことから、流通量の多い仕様に変更した。
Q1-7	Q1-7	ECPの推奨シーリング材は？	低粘着性マスキングテープの見分け方を追記した。	どれを買ったら良いか分からないとの問い合わせが有り、具体的な説明をした。
Q2-1	Q2-1	ECPの使用可能な部位は？	解説に「専用品として開発した製品を除き」を加筆した。	専用品は性能確認済みだが、一般品は特殊用途に使用できないことを強調した。
Q2-2	Q2-2	ECPの建物適用高さは？	誤字修正のみ。	
Q2-3	Q2-3	ECPを型枠代わりに使用可能か？	誤字修正のみ。	
Q2-4	Q2-4	ECPの支持スパンの算出方法は？	「安全率」→「許容曲げ応力の安全率」に変更した。	単なる「安全率」では、誤解をまねくおそれがあるため。
Q2-5	Q2-5	ECPの3点支持は可能か？	誤字修正のみ。	
Q2-6	Q6-2	ECPの層間変位に対する追従性は？	面外変形に関する見解を、文章・図・計算で追記した。	問い合わせが増えたことから追記。
Q2-7	Q2-6	ECPを高温・湿潤環境で使用可能か？	改定なし。	
Q2-8	Q2-7	ECPの寒冷地での注意事項は？	「吹付け発泡ウレタン」→「断熱材吹付け」に変更。	断熱材の不燃化が進んでいるため、ウレタン吹付けに限定しないことにした。
Q2-9	新規追加	ECPの付き付けコーナーは可能か？	縦張り工法・横張り工法における注意点を紹介した。	突き付けコーナーでの不具合事例があることから、注意喚起として加えた。

第2版	初版	内容	改定箇所	理由
Q2-10	新規追加	オープン笠木は付けられるか。	注意点とともに、良い例と悪い例を紹介した。	笠木の取り付けで不具合事例があることから、注意喚起として加えた。
Q2-11	新規追加	天井材の地震対策は？	一般天井も特定天井なみの仕様にすることを推奨した。	大地震後の調査において、天井材の衝突による事故が多かったため。
Q3-1	Q3-1	ECPの施工は何に基づくのか？	仕様書を「平成22年版」→「平成28年版」に変更。	「公共建築工事標準仕様書」が改定されたが、内容は変わっていない。
Q3-2	Q3-2	ECPの目地幅とクリア寸法の根拠は？	横張り工法のブラケット金物を、溝形鋼に変更。	U型金物の曲がり部分に溶接する納まりに、疑義が生じていたため。
Q3-3	Q3-3	ECPを直接構造体に取り付け可能か？	「屋上工作物」→「屋上目隠し壁」に変更。	不具合の多くが屋上目隠し壁で発生のため、注意喚起をここに集中させた。
Q3-4	Q3-4	Zクリップ留め付け時の注意事項は？	改定なし。	
Q3-5	新規追加	Zクリップの留め付け個数は？	パネル1枚あたり4個必要なことを示した。	留め付け箇所数の公的根拠の問い合わせがあり、追加した。
Q3-6	Q3-5	ECPの下地鋼材と溶接の基準は？	横張り工法のブラケット金物を、溝形鋼に変更した。	U型金物の曲がり部分に溶接する納まりに、疑義が生じていたため。
Q3-7	Q3-6	ECPの開口補強材の考え方は？	改定なし。	
Q3-8	Q3-7	ECPへの穴あけ・欠き込みの基準は？	大幅変更。「建築工事監理指針」などに準拠した。	東日本大震災の対策として、公共建築協会(国土交通省監修)に提案した内容。
Q3-9	新規追加	ECPの対応可能な最小幅は？	「公共建築工事標準仕様書」などの内容を紹介した。	パネル最小幅の公的根拠の問い合わせがあり、追加した。
Q3-10	新規追加	ECPの屋上目隠し壁での注意点は？	「建築物外装材耐風設計」に記載の風力係数を採用した。	不具合の多くが屋上目隠し壁で発生のため、注意点を増やした。
Q3-11	新規追加	水抜きパイプの設置基準は？	設置基準とともに、透水材の製品例を紹介した。	水抜きパイプと透水材の問い合わせが増えたことから、一例を示した。
Q3-12	Q3-8	ECPへの設備機器の取り付け方は？	設備機器類の取り付け方法の問い合わせが増えたことから、代表的な換気扇・看板・樋・タラップ・エキパシヨジョイントについて具体例を示した。	地震での破損例紹介から、具体的な設備機器の取り付け方に変更した。
Q3-13		ECPへの看板の取り付け方は？		
Q3-14		ECPへの樋の取り付け方は？		
Q3-15		タラップ・エキパシヨジョイントの付け方は？		

第2版	初版	内容	改定箇所	理由
Q3-16	新規追加	設備機器を取り付ける専用アンカーは？	具体的なワンサイドアンカーとビスを紹介した。	問い合わせが増えたことから、協会で検証を行い、推奨金物とした。
Q3-17	新規追加	ECPの安全な荷揚げ方法は？	標準的な荷揚げ方法を、安全対策として紹介した。	他資料で紹介済みだが、安全に係わるため、Q&Aでも掲載することとした。
Q4-1	Q4-1	ECPにはどのような仕上げが可能か？	改定なし。	
Q4-2	Q4-2	ECPを素地で使用する時の注意は？	改定なし。	
Q4-3	Q4-3	ECPに塗装する時の注意事項は？	注意事項を、「塗料と塗装基礎知識改定第3版」に変更。	日本塗料工業会が発行している資料で、より具体的な内容のため引用した。
Q4-4	Q4-4	ECPへのタイル張り工法の種類は？	改定なし。	
Q4-5	Q4-5	ECPにタイルを張る時の注意事項は？	窓まわりのシーリング材充填の注意事項を追記した。	漏水事故が時々発生している箇所のため、注意喚起として加えた。
今回削除	Q4-6	ECP裏面にロクカールを吹く時の注意は？	Q&Aを削除した。	パネル裏面にロクカールを吹く仕様について、協会内の意見統一ができなかった。
Q4-6	Q4-7	ECPに内装材を直接貼れるか？	改定なし。	
Q5-1	Q5-1	ECPの耐用年数の目安は？	改定なし。	
Q5-2	新規追加	紫外線劣化とアルカリ骨材反応は？	紫外線劣化・アルカリ骨材反応ともに、問題無しと記載。	誤解による問い合わせがあったことから追加した。
Q5-3	Q5-2	ECPの素地と塗装のメンテナンスは？	改定なし。	
Q5-4	Q5-3	ECPの目地止水のメンテナンスは？	改定なし。	
Q5-5	Q5-4	ECPタイル張りの定期診断方法は？	改定なし。	
Q5-6	新規追加	ECPの石綿品とノン7品の見分けは？	具体的な見分け方を数例紹介した。	アスベスト含有の有無の問い合わせが増えたことから追加した。
Q5-7	Q5-5	石綿含有ECPのメンテナンスは？	改定なし。	
Q5-8	Q5-6	石綿含有ECPの廃棄方法は？	誤字修正のみ。	

第2版	初版	内容	改定箇所	理由
Q5-9	新規追加	改修時の足場つなぎの設け方は？	メンテナンス工事での足場つなぎの一例を示した。	問い合わせが増えたことから、追加した。
Q6-1	新規追加	ECPは屋根葺き材緊結に適合するか？	法令への適合性を説明した。	問い合わせがあり追加した。
Q6-2	新規追加	屋根葺き材の構造計算への対応は？	法令に基づく対応を各社で行っていることを説明した。	問い合わせがあり追加した。
Q6-3	Q6-1	支持スパン計算に使用する風圧力は？	改定なし。	
Q6-4	Q6-3	消防法令8区画にECPは使用可能か？	改定なし。	
Q6-5	Q6-4	ECPは危険物の建築物に使用可能か？	改定なし。	
Q6-6	Q6-5	防火区画を貫通する配管の処理は？	誤字修正と図面修正のみ。	
Q6-7	Q6-6	ECPは昇降機周りの壁に適合するか？	改定なし。	
Q6-8	Q6-7	ECPは倉庫業法の外壁に適合するか？	支持スパンを「3800mm」→「3700mm」に変更した。	断面性能の低いパネルで計算しなおした結果に変更した。
Q6-9	Q6-8	東京消防庁の防火区画基準への対応は？	改定なし。	
Q6-10	新規追加	ECPを素地で住宅に使用できるか？	住宅の「まもりすまい保険」の対応について記載した。	問い合わせが増えたため追加した。
Q7-1	新規追加	大臣認定制度の概要と運用は？	耐火構造の大臣認定について、概要と運用を記載した？	平成12年の建築基準法改正について、認識度が低いために追加した。
Q7-2	Q7-1	耐火認定書別添の消し線等の意味は？	改定なし。	
Q7-3	新規追加	認定の申請者と製造者が異なる場合は？	法改正により、構造方法等の認定になったことを説明。	問い合わせがあり追加した。
Q7-4	新規追加	大臣認定書の写しの入手方法は？	どのホームページからダウンロードが可能か紹介した。	問い合わせがあり追加した。
Q7-5	新規追加	防火構造の外壁下地に被覆は必要か？	防火構造では不要だが、耐火構造では解釈が必要と説明。	問い合わせがあり追加した。
Q7-6	Q7-2	耐火構造を準耐火構造要求に使えるか？	改定なし。	

第2版	初版	内容	改定箇所	理由
Q7-7	Q6-6	耐火認定ECPの厚さとリブの扱いは？	最近の耐火認定別添の内容を追記して説明を加えた。	問い合わせが多く、また公的な裏付けを求められるようになったため。
Q7-8	Q7-4	外壁ECPの床部分層間塞ぎ方法は？	改定なし。	
Q7-9	Q7-5	口準耐1号外壁の下地鋼材の被覆は？	「耐火試験結果から被覆は不要とされます」を削除。	全ての認定に共通していないため、判断基準から外した。
Q7-10	Q7-6	外壁ECPの下地鋼材の耐火被覆は？	改定なし。	
Q7-11	Q7-7	間仕切壁ECPの下地鋼材の被覆は？	改定なし。	
Q7-12	新規追加	ECPと吹付RW複合のRW仕様は？	吹付けロックールの施工管理基準値について記載した。	問い合わせが増えたため追加した。
Q7-13	新規追加	ECPと吹付RW複合のECP仕様は？	ECPの縦張りとは横張りの耐火認定可否について記載。	問い合わせが増えたため追加した。
Q7-14	Q7-3	ECPの内面に木材を付けても耐火か？	「名古屋市建築基準法関係事例集」の記載を引用した。	初版は外側への取り付けQ&Aだが、両面の公的な見解書のため採用した。
Q7-15	新規追加	防火区画の中空壁にコンクリートの付け方は？	「京都市建築法令実務ハンドブック解釈編」を引用。	公的な見解書のため採用した。